

浄土真宗のご門徒で写経をしてみたいと言われる方のために「讚仏偈」の書き方の参考として手本を加えました。

言うまでもなく、現世祈禱を否定する浄土真宗では、除災招福の目的や、先祖への追善供養として経典を書写するということは厳に慎しまねばならないことであります。しかし、救われる者の喜びの上から仏恩報謝の一助として、経典を書写することは何ら差し支えないことでもあります。写経は寧ろ積極的であってよいのです。本書を活用していただけるなら幸せです。

なお、本文〈写経〉の手本は旧漢字、下段の訓読については当用漢字となっております。